

学習案内 社会科 (1年)

1. 地理学習のねらい

社会科の目標

- 日本や世界における、地理的な見方や考え方を身につける。
- 日本や世界の地域の特色を自然との関わりの中で追求していく方法を身につける。
- 実際に地域を調べる中で、主に地図を使って表現することができる。

こんな学力を

- 地理への関心を高め、意欲をもって学ぶ力をつける。
- 世界・日本の白地図を大まかに描くことができる。
- 日本や世界の色々な地域の特色を様々な面、色々な角度から考える力をつける。
- 地図や統計など調査に必要な資料を集めてうまく利用し、考えた流れや結果を地図にしたり、レポートにまとめる力をつける。
- 日本や世界の特色を調べる上で必要な用語を理解している。

2. 地理学習の心構え

授業では

- 提出物の提出期限は必ず守る。
- 他人の発表や発言はしっかり聞き、自分の考えをはっきり言えるようにする。
- 教科書の基本的用語（太文字）は覚える。
- 調べた内容はできる限り地図を使って表現する。
- レポートにする時は自分の予想、考えた流れ、利用した資料、結果という流れでまとめる。

家庭学習では

- 基本用語は書きながら覚える。
- 教科書などで出てきた国名や地名は必ず地図帳で確認しておく。

1. 歴史学習のねらい

社会科の目標

- 日本の歴史の政治、産業、社会の様子、文化の特色など、各時代の特色を理解する。
- 社会や文化の発展に尽くした人物について学び、生き方を理解する。
- 日本との歴史や文化の関わりを考え、他民族の文化、生活などに興味をもつ。
- 身近な地域の歴史を調べることを通して、地域をいろいろな角度から考える力をつける。

こんな学力を

- 歴史への関心を高め、意欲をもって学ぶ力をつける。
- 歴史上の人物・文化財の果たした役割について、様々な面、色々な角度から考える力をつける。
- 歴史学習に必要な資料を集めてうまく利用し、考えた流れや結果を年表にしたり、レポートにまとめる力をつける。
- 歴史学習に必要な基本を理解し、身につける。

2. 歴史学習の心構え

授業では

- 提出物の提出期限は必ず守る。
- 他人の発表や発言はしっかり聞き、自分の考えをはっきり言えるようにする。
- 教科書の基本的用語（太文字）は覚える。
- 調べた内容はできる限り年表にまとめ、表現するようにする。
- レポートにする時は自分の予想、考えた流れ、利用した資料、結果という流れでまとめる。

家庭学習では

- 基本用語は書きながら覚える。また、年表にまとめてみる
- 教科書などで出てきた人名や文化財などは必ず時代を年表で確認しておく。
- 歴史上の出来事は年代を必ず覚えておく。

3. 社会科の評価の仕方

(1) 評価の観点…○別紙、「評価・評定について」参照

(2) 評定の対象となるものと評価の方法

観点	対象となる活動	評価の方法
①知識・技能	定期テスト、小テスト、レポート等への取り組み	達成度（得点）を評価
②思考・判断・表現	定期テスト、レポート作成・発表会、話し合い活動、作業活動等の内容など	取り組み内容を評価 教師による観察評価→点数化
③主体的に学習に取り組む態度	授業中の発言、ノート整理、課題プリント等への取り組み・自己評価、生徒相互評価など	評価カード～教師による観察 教師による観察評価～点数化

(3) 評定の付け方

○別紙、「評価・評定について」参照

4. 学習計画

	1 学年	2 学年
地理	世界のすがた～世界の諸地域	日本のすがた～日本の諸地域
	※歴史的分野と交互に学習します	※歴史的分野と交互に学習します

	1 年生	2 年生	3 年生
歴史	導入～室町時代の古代・中世の歴史	◎戦国時代～明治時代の近世・近代の歴史	◎明治以降の近代・現代史
	地理的分野と交互に学習	※地理的分野と交互に学習	